

夢への挑戦

福井市文殊小学校六年 田中 陽悠

僕の将来の夢は、一流のプロ野球選手になることです。僕が一番好きな野球選手は大谷翔平選手です。大谷選手は、百六十キロメートルを超える速球を投げることができ、変化球のキレもトップクラスです。打者では、百五十メートルまでボールを飛ばすパワーがあり、長打やホームランも打ちます。また、常に向上心を持ち、野球に一直線な人です。僕は、そんな大谷選手みたいに、プレーで人を喜ばせることができるような人になりたいと思います、プロ野球選手を目指すようになりました。

僕が目指すプロ野球選手は、走、攻、守三拍子そろった選手です。まずは、走る力をのばすために、今習っている陸上をがんばります。陸上ではけがをしない体をつくるために筋トレや練習後の体のケアをかかさず行うようにしたいです。そして、前回の大会で十四秒台を出すこ

とができたので、これからも練習にしっかりと取り組み、卒業までに十三秒台を出せるようにしたいです。

中学校では、野球部に入り、基本からしっかりと取り組み、打撃と守備をみがきたいです。部活が終わっても素振りや筋トレなど自主練を積み重ねてレギュラーをとれるようにがんばりたいです。家では、野球ノートを毎日書くようにし、その日アドバイスされたこと、気づいたこと、良かったところ、直さなければいけないところを書きます。そうすれば、次の部活で何に取り組みれば良いかが分かります。また、本やテレビからも、技術だけでなく気持ちの持ち方なども学びたいです。

高校では、甲子園出場を目指して、毎日の練習をがんばります。また、チームのキャプテンとして、みんなを支えていけるように、自分からあいさつしたり、

声を出したり、後片づけを進んでやりたいすることも大切にしていきたいです。

プロ野球選手になるための方法を調べてみると、いくつかの方法があることが分かりました。高校、大学、社会人からドラフトで入る方法、テストを受けて入団する方法があります。僕は、まだどの道を選ぶかは分からないけれど、その時に一番いいと思った道を選びたいです。プロ野球選手になるためには、英語の勉強も大切だと分かりました。英語を勉強しておけば、外国人の選手ともコミュニケーションをとることができるし、メジャーリーグに行けたとしても役に立つと思うからです。そのために、中学校や高校で英語の勉強をしっかりしたいと思います。

プロ野球選手になりたいという夢をかなえるために、これからがんばらないといけないことはたくさんあります。つらいことや苦しいことにもぶつかると思いますが、でも、困難なこと、難しいことに自分から立ち向かっていく勇氣を持って前に進んでいきたいと思っています。

田中 陽悠 のライフプラン

将来なにになりたいか？ プロ野球選手

その理由：
プレーで人を喜ばせる選手になりたいと思ったから

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2019年	12(小6)	陸上に専念する。バッティングセンターへ行ったり少し体を鍛えらしておく。	陸上の月謝、バッティングセンターの料金
2020年	13(中1)	中学校に入学。野球部に入り、基本からしっかりと取り組む。勉強もあつものにせず野球と勉強を両立させる。	野球用品代、遠征費用
2021年	14(中2)	レギュラーを取れるように、一生懸命練習する。秋には主将になりセンターのポジションを掴む。	
2022年	15(中3)	全国大会出場。決して気をゆるめず、ベスト8に入る。英検1級をとる	英検代
2023年	16(高1)	高校に入学。中学校で学んだことを忘れずレギュラー争いに加わる。	入学金
2024年	17(高2)	努力をおこたらず、甲子園出場を目指す。秋にセンターのレギュラーを取る。	
2025年	18(高3)	甲子園出場。ベスト4に入る。秋のドラフト会議で上位指名。契約金は全て家に送る。	
2026年	19	キャンプでもうアヒール。開幕一軍で二番センターのレギュラーを取る。体言周管理をしっかりし、1年間がかなって、新人王と盗塁王を取る。	寮費
2027年	20	昨年も、ついに戻ったところ、悪かったところを反省する。ふり返ったことをノートに書き出し、自主的なことで強化する。盗塁王をとる。	
2028年	21	ロサンゼルス五輪に出場し、侍ジャパンに入る。五輪は世界一になる。日本のプロ野球界の大リーグの選手と対戦し、自身の技術向上につなげる。	
2029年	22	チームの主将になる。チームは徳川組として、自身も最多安打賞、盗塁王をとる。	生活費
2030年	23	チームの中心的存在になる。2月勝4敗で敗退。交流戦MVP、盗塁王をとる。首位打者も獲得。	
2031年	24	さらなる成長を求めて、オフにアメリカに渡る。アメリカでは技術だけでなく精神面なども強化する。ちょっとした英語の復習をする。	アメリカへ行く費用
2032年	25	本塁打は20本にとつた。首位打者かくとく。MVP、トリプルスリーも視野に入れる。	
2033年	26	家族に恩返し。家を買ったりする。そして、25本塁打と連、50盗塁も記録する。	
2034年	27	トリプルスリー達成。若手としっかり向き合い育成する。自身の技術向上につなげる。	
2047年	40	現役引退。引退後は野球界で自分のような選手を育てる。	